

祝

関東大会出場!! 吉田昂平選手!!

東秩父中学校3年生の吉田昂平選手（皆谷）が、7月4日（土）（予備日5日（日））千葉県袖ヶ浦市営今井野球場で行われる第32回全日本少年軟式野球大会関東予選会へ出場します。

吉田選手は、比企フェニックスに所属し、昨年9月に行われた比企選抜セクションで80～90人の中から24人に選ばれました。そこから6ヵ月間、他県や県内の選抜チームとの練習試合を行い、4割を超える打率と安定した守備で結果を出し、2番センターでレギュラーを勝ち取ったそうです。

そして、第32回全日本少年軟式野球大会埼玉県中央大会および第12回埼玉県中学生クラブ選手権軟式大会において、

1回戦 対スリースターズ 3－1

準決勝 対さいたまソニックス 6－5

決勝 対南埼玉ガース 1－0

といった結果でみごと優勝し、今回の関東大会へのキップを手に入れました。

関東大会では、1回戦、群馬県代表の伊勢崎北選抜と対戦します。「関東大会は通過点なので、あと2つ勝って全国大会に行けるように頑張ります」と吉田選手も気合が入っていました。



和紙が生んだ懸け橋 — 美濃市副市長来村



5月14日（木）、岐阜県美濃市の市原副市長が東秩父村にお越しになりました。美濃市で生産される手すき和紙「本美濃紙」は、昨年11月細川紙・石州半紙とならびユネスコ無形文化遺産に登録され、そこから東秩父村とのつながりが生まれ、今回の副市長訪問となりました。

市原副市長は和紙の里において、紙すき家屋や細川紙展などの見学をしていただいたのち、東秩父村役場において、ユネスコ無形文化遺産登録決定を受けての今後の和紙PRの動向について、副村長をはじめ村議会議員や村職員と協議されました。

「今回、東秩父村を訪れることができ、大変嬉しく思います。縁があり、今こうして2つの自治体が出会うことができました。これからも多くの関係者とともに、日本の和紙技術を盛り上げていきましょう」と、訪問をたいへん喜ばしく思われたようです。

今後も協働し、日本の手すき和紙技術の発展を担っていくことを誓い、村長と市原副市長は堅い握手を交わされました。



▲和紙の里の説明をうける市原副市長



多面的機能支援推進会議 優良事例表彰

4月27日（月）、さいたま市のさいたま共済会館において、埼玉県多面的機能支援推進会議（旧農地・水・環境保全向上対策地域協議会）総会の中で優良事例表彰式が行われ、東秩父村大河原東部地区外4団体が、長年の活動が認められ表彰されました。表彰式には、代表の関根高義氏が出席され、河村仁埼玉県農林部長から表彰状が授与されました。